



激流の釣りは、
仕掛けマキエともども
本流に送り込むことだね！

濁流にも似た激流。この潮流域でクロを攻略するのは至難の業だ。しかし、潮の仕組みや流れる潮筋を読み、仕掛けを馴染ませることができたらクロの多釣りに繋がる所だ。そのためにはマキエを上手に撒いて、本流から外さないことを心掛ける。



“愛用の釣研のウキ”



仕掛けが流芯に入り込んだ時点で、リールのスプールから出るラインをサミングしながら仕掛けを送り込む。

波気立っているサブポイント

支流

マキエは足下。本流域へと流れ出るように撒く。

釣り座

激流での仕掛け例



仕掛けが流れる軌道

仕掛けが本流域に達するまではラインフリーで流す。

仕掛け投入点

仕掛け投入後は仕掛け全体が一直線になるように引き戻す。

は『激流』の攻め方について聞かせてもらえませんか？
野間氏 『激流』ですか!? い
いですよ、個人的にも大好きな
潮だし、瀬に立って目の前に激
流が走っていると心臓バクバクの
しっ放しだね。
激流の流れだと、誰でもどの
方向に潮が流れているかという
のは分かるはず。まずはマキエ

だけど、ここでは釣り場の瀬鼻
に釣り座を構えて、足下にマキ
エを打ち込むのがセオリー。
ただし、マキエが激(本)流
筋に引かれる所に打ち込まない
と意味がない。最初にマキエサ
をシャクで2〜3バイ入れ込ん
でみて、マキエサの軌道を確認
めること。上手く激流の本流筋
に運ばれていくようだと、その

激流が少し萎えた所とか、沖で
波気だったりしている所とか、
湧き潮が見られるような所では
必ずクロが喰ってくる。しかも
仕掛けが上手い具合に潜り込ん
でいるようだと言ってくるクロ
もデカイからね！ だから攻め
甲斐がある。要は、マキエサも
仕掛けも激(本)流筋から外さな
いことが一番大事。